

製品取扱説明書

【用途】コンクリートのひび割れ注入、止水用注入材。

1. 一般名 微粉末シリカ配合高炉スラグセメント
2. 規格 社内規格
3. 特徴 微粉末シリカ配合高炉スラグセメントの特長は、珪砂を原料としたパウダーでその大部分は珪素(SiO₂)で構成されています。珪素はあらゆる物質の中で酸や化学薬品に蝕され難い物質であり、物理的強度も高い為、この特色を生かし、耐酸、耐アルカリ、耐熱、耐火、耐候、耐水、耐磨耗性等に非常に優れており、物理的強度を高める事が出来ます。
副資材等を活用することで、地盤改良時の安定材としての効果も期待できる。また吸油量が少なく、白色度が高いため注入工事にとどまらず表面仕上げの良さが、ハイドロ・スカイ各製品との組み合わせにより表現力も拡大される。

4. 一般性状	
項目	内容
主成分	エーライト3CaO・SiO ₂ ビーライト2CaO・SiO ₂ アルミネート3CaO・Al ₂ O ₃ フェライト4CaO・Al ₂ O ₃ ・Fe ₂ O ₃ 硫酸カルシウム SiO ₂ Al ₂ O ₃ Fe ₂ O ₂ CaO メチルセルロース
容姿	粉体
荷姿	20kg入り・4kg入り (2kg×2)
比重	2.01～2.65 (20℃)
粘度	60～75mPa・s (水比60～80%)
P H	10.0～12.0 (強アルカリ性)
平均粒度	2.8μm～6.4μm
曲げ強度	5N/mm ² ～8N/mm ²
引張強度	1.7N/mm ² ～3.2N/mm ²
付着強度	1.8N/mm ² ～2.2N/mm ²
溶媒	水・SKY-G1

5. 施工上の注意

1. 粉体ですので保管に注意してください。長期間（3ヶ月以上）の保管は避けてください。
2. 小袋（2kg）は開封後速やかに使い切ってください。残材は破棄してください。
3. 注入用ペーストを練る場合、躯体の漏水、劣化状況にもよるが60～80%のSKY-G1で練り合わせてください。
4. 亀裂、ひび割れ補修の場合は躯体の漏水、劣化状況にもよるが40～60%のSKY-G1で練り合わせてください。
5. 漏水状況、ひび割れ状況により注入プラグを選定します。
6. 練り合わせたペーストは、ケミカルポンプまたはハンドポンプに挿入し充填します。
7. 注入後ペーストは数分で固化し始めます。
8. リターンまたは固化が確認できたら、注入プラグを取り外します。
9. 使用した器具、機材は水で洗い落としてください。速やかに機具類の洗浄をすることで、再使用が可能です。
10. 万一、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談するようお願い致します。

※プラグ負圧タンクの位置に注意！

横向き注入 ○



横向き注入 ○

下向き注入 ○



下向き注入 ×

上向き注入 ○



上向き注入 ×



株式会社ハイドロ・スカイ
 〒130-0002 東京都墨田区業平4-11-9
 TEL:03-5637-8834 FAX:03-5637-8874
 URL://www.hydro-sky.co.jp
 E-mail:hydro@hydro-sky.co.jp

HYDROSKY SKY-CSP



6. 施工手順(参考)



※ペーストは10分程度で注入できる量を混練する。

セメントペーストの真の強度の測定は極めて困難な試験

W/C が 30% を下回るような配合ではさほど問題にならないが、W/C が大きくなってくると、供試体内部で分離現象が生じ、セメント粒子は下に沈降し、これと反対に水は上昇する。このため、混和剤の使用の有無等で差はあるが、供試体下部ではセメント粒子の沈降・圧密によりセメントリッチな緻密なペースト硬化体となり、供試体上部ではセメント粒子の沈降と水の上昇により、実際の W/C は上に行くほど増大し、供試体表面部に至っては W/C が 60% を超えた配合などの場合では、供試体高さの 10% あるいはそれ以上の厚さのブリーディング水やレイタンスの様な脆弱層を形成することが多々あります。また、このブリーディングやレイタンス層の下のペースト層も水分の上昇とセメントの沈降により W/C は初期の値よりも大幅に増加することとなるので、供試体内部のペースト強度は均一でなく、下部が最も強く上に行くほど強度は低下。表面部分ではさらに急激に W/C が増大し強度の極めて低い脆弱層を形成することになる。このため圧縮強度試験に当たってはこの脆弱層や W/C の大きな部位をどこまで処理して試験を行うかによって、結果は大

きく異なってくることになる。

また、分離は打ち上げ高さにより大きく異なることとなるので、当然 $\phi 50\text{mm} \times 100\text{mm}$ 供試体で実施したのと $\phi 100\text{mm} \times 200\text{mm}$ 供試体で実施したのでは、後者の方が分離程度は顕著となるので、強度低下の程度は大きくなる可能性は高いと思われる。

また、セメント粒子の沈降は供試体側面では型枠側面の拘束の影響で起こりにくく、拘束の最も小さい供試体中央部分が最も起こりやすくなりますので、強度分布は水平方向でも異なることとなります。このため、供試体は均一な応力分布時の破壊のようなキネ形や鼓形には破壊せず、偏載荷や部分載荷時のような縦割れの形状を起こしやすくなるものと考えられます。

これに対し、同一 W/C のコンクリートの場合でも分離は起こりますが、水の分離上昇やセメントの沈降はペーストに近接する細骨材や粗骨材面で阻止されることとなりますので、ペーストの場合ほど極端に供試体上下による W/C や組織構成の差は生じませんので大きな強度低下は発生しにくくなります。

建物長寿命化に貢献する材料として

建物長寿命化に貢献する材料として SKY-CSP（微粉末シリカ配合高炉スラグセメント）を掲げる。コンクリートの脆弱化による漏水や強度不足の補修に活用できる。セメントペーストを注入するにあたり、W/C30% を超えるとセメント粒子は下に沈降し、ブリーディング水やレイタンスのような脆弱層を形成する。ハイドロフィット工法では SKY-CSP と SKY-G1 を 60~80% で混練する。非常にワーカビリティに優れ 4 週材齢では 40Nmm^2 と徐々に強度を上回る。このスラグペーストには SKY-G1 の成分が強アルカリ性を通常セメントと同程度に引き戻し安定させる。通常の結晶体では充填できない隙間を飽和し抱水性が高く気相が少ない。結晶鉱物が進行するほど、強度が増し透水係数が低くなっていく。これにより劣化したコンクリートの部分補修や、空洞化した部位にも効果的に補修ができる。さらに SKY-MX を表層部から含浸させることで長期的な防水が可能となり、建物長寿命化に貢献する仕上げ材・防水材・補修材である。

(※W/C=セメントに対する水比)



SKY-G1/SKY-CSP60% (W/C) のペースト供試体採取時



SKY-G1/SKY-CSP60% (W/C) のペースト供試体 1 日経過。通常セメントペーストではブリーチングして沈降してしまうが、ブリーチング水も上がらず固化している。

